

新江州株式会社

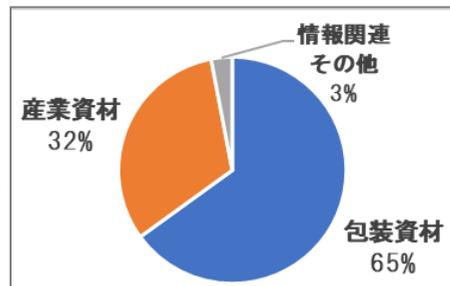


「優先されるサプライヤーへ」新江州株式会社は顧客との関係を大切に新しいことへの挑戦をためらわないことで新たな価値を生みだしてきました。常に発展を望む理由には、地元長浜への貢献が第一にあります。長浜で創業した同社は地域に支えられて2017年に創業70周年を迎えました。そしてこれから先の激動の時代をどう生き抜いていくのか、常に未来に目を向けています。今回は代表取締役社長の森和之さんにお話を伺いました。

事業内容と社是・経営理念

<3つの主要事業>

- 包装資材…段ボール、物流梱包資材
- 産業資材…住宅資材（床養生材、高機能シート）
- 情報関連その他…UVグラフィックス、デザイン



社是「過去には感謝、現在には信頼、未来には希望」

歴史を築いてきた先達への感謝を忘れず、今の自分と周囲の人々や環境を信頼し、未来に大きな希望と夢を持って生きていこうという意味が込められています。この社是は常に先を見据えて積極的な事業展開をしている現在の姿に現れています。

経営理念「人を大切に」

「人」とはお客様だけではなく、ビジネスパートナーや地域の方々、社員とその家族、新江州株式会社に関わるすべての人を意味します。この経営理念のもと、一時は目指していた上場を取りやめ、より人を優先した企業経営を行っています。

<メッセージ>

これから社会に出るにあたって重要なことは、自分の意思を持って行動し、会社に対して受動的にならず、主体的に選択することです。またそれができる会社を見つけることがより良い社会生活の一步であると考えます。
代表取締役社長
森和之さん

会社概要

■住所(本社)	〒526-0111 滋賀県長浜市川道町759-3 びわ工業団地内	■設立年月日	1948(昭和23)年10月8日
■企業HP	http://www.shingoshu.co.jp/	■代表者名	代表取締役社長 森 和之
■資本金 ■従業員数	資本金 : 9,900万円 従業員数 : 200人(2018年11月現在)	■業種	製造業、商社

地元長浜への貢献

「すべては紙から始まった」

紙販売からスタートした新江州株式会社は、長浜初の段ボール製造会社へと転換しました。その後も積極的な事業展開を進め、地元長浜に支えられながら地域と共に発展してきました。経営理念にもあるように関わったすべての人、地域に還元することを第一に考えた経営を行っています。

- ・長浜に住む人にとって魅力的な会社へ…良質な職場の提供、福利厚生面等の充実
- ・長浜の企業へのサポート…情報提供等により、つよい企業になる手伝い
- ・長浜から世界へ…東京に行かなくても海外へとつながる仕事を
→ 長浜の人が地元にいながら良い仕事ができるように、また長浜に住みたい人に対して魅力的な企業を目指しています。

差別化と多角化

【事業の特徴】

- ・多くの企業の場合
…コアコンピタンスを重視し、事業に取り組む
- ・新江州株式会社
…コアコンピタンス×
顧客のニーズに合わせて、一見自社の事業に関係ない事業にも積極的に取り組むことで多角化を図る。
→ 信頼、実績を積むことで新しいビジネスへつながる。

今ある事業はいずれなくなるという考えのもと、ただなくなることを悲観するのではなく、新しいことにどう取り組むのかを常に考えています。その結果多角化が進み他社との差別化にも繋がっています。

これからの事業展開と課題

- ・設備投資…機械化による効率化と生産性の増加を図る。
- ・付加価値の向上…営業の強化による顧客とのコミュニケーションを増やす。
→ オオーダーメイドやカスタマイズに対応。
- ・事業の選択と集中…シェアの高いものを残し、低いものからは撤退する。



(取材学生) ※下線は担当学生

<左から1番目>	経営学部 経営学科	2回生	藤原康平
<左から2番目>	経営学部 経営学科	2回生	田中愛希
<左から3番目>	経営学部 経営学科	2回生	森岡葵
<右から2番目>	経営学部 経営学科	2回生	藤川未夢玲
<右から1番目>	経営学部 経営学科	2回生	杉本真理

<取材を終えて>

今回、企業訪問をさせて頂いて今までの漠然とした中小企業へのイメージが大きく変わりました。実際に訪問させて頂くまでは下請けや工場といったイメージが強くありました。しかし見学をさせて頂くうちに新江州株式会社様は製造業としてだけではなく、商社としての役割を持ち、多種多様な事業を積極的に展開していることが分かりました。初めは一見関連性のないように見える事業が多い印象を受けました。しかしこれまでに築いた技術や人脈が繋がり、新しい強みを生み出していて、人を大切にする経営理念がこういった企業のあり方を可能にしているんだなと思いました。中小企業という言葉の印象でみるのではなく、一つ一つの企業として知ることによって企業の魅力がはっきりと見えてきました。

今回の訪問でこれから就職活動を通して実際に企業と関わっていく学生にとって、企業を一つの視点だけでなく、多角的に見ることが魅力発見や視野の拡大につながると感じました。(取材日：2018年10月18日)